

達成度（評価）

A：十分達成できている

B：おおむね達成できている

C：やや不十分である

D：不十分である

学校名	白石町立白石小学校
-----	-----------

1 前年度 評価結果の概要	・ICT利活用については、Meetを活用した遠隔授業、Jamboardを活用した考え・作品の共有、Formsを活用したアンケート集計など様々な場面で有効活用することができ、校内研で互いの利活用を共有し合うことができた。次年度も、引き続き活用し、全職員のスキル維持、さらなるスキルアップを図っていく。同時に、家庭でのスマホ・SNS等の利用における課題が生じた。正しい活用ができるように、家庭を巻き込んだ『情報モラル教育の充実』を一層図っていかなければならない。 ・算数科の校内研究を中心として、一人一台の学習者用端末を活用しながら、児童の学力向上を目指し、研修を深めてきた。学習状況調査が県平均を上回る結果であったが、個別の支援を充実させながら対話活動を充実させ、深い学びへ誘うことが今後求められる。 ・全職員で日々感染対策、危機管理を行ってきた。すべきことを確認し合い、情報共有し、児童の安心・安全な学校生活を保つことができた。今後も、安心・安全な学校生活の保持のため、心身を強く、たくましく育む教育、ならびに危機管理の徹底を図っていく。
------------------	---

2 学校教育目標	心豊かに、創造性を発揮し、たくましく生きる子どもの育成 ～元気＋笑顔＋夢＝幸せいっぱい～
----------	---

3 本年度の重点目標	令和6年度スローガン「出番・役割・承認」 Ⅰ 確かな学力 ・どの子も楽しく「わかる」「できる」確かな学び ・ユニバーサルデザインの推進【環境のUD・授業のUD】 Ⅱ 豊かな心 ・感謝する心、思いやりの心、協力する心 ・気持ちのこもったあいさつ ・ユニバーサルデザインの推進【人的UD】 Ⅲ 健やかな体 ・生活、運動習慣の充実 ・体育的活動の充実
------------	---

4 重点取組内容・成果指標				中間評価		5 最終評価				主な担当者
(1)共通評価項目										
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	○校内研究の充実	○校内研究に関するアンケートにて、自分の考えをもち、交流活動を通して、課題解決をしていると回答している児童が80%以上	・児童が自分なりの方法をとりながら、交流活動を通して、課題解決できるよう、手立てをとって授業を行う。						研究主任・副主任	
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	●学校アンケートにて、道徳の授業で自分の考えをもったり、友達の交流の中で考えを深めたりすることができた児童が80%以上	・ふれあい道徳を実施し、全学級で授業を公開する。 ・授業後、ワークシートに振り返りや感想を書かせ、学級通信等で保護者に知らせる。						道徳主任・副主任	
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	●いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事案対処等)について組織的対応ができていると回答した教員が80%以上 ○いじめ等の対応や指導を適切に行っていると答える保護者が80%以上	・毎月「心のフォーム」を実施する。 ・人権集会(教室)を計画的に実施する。 ・気になる児童については、毎週水曜日の職員連絡会で共通理解し、対応策について協議する。						生徒指導主任・副主任	
	◎児童が夢や目標をもち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとする教育活動	◎「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童が80%以上	・自分の目標や将来の夢について考える機会を授業の中に設定する。 ・各種体験活動では、児童に活動の見通しと学びの振り返りを行い、一人ひとりに「出番・役割・承認」を与える活動を仕組む。						高学年担任	
●健康・体づくり	●「望ましい生活習慣の形成」	○各学年の目標就寝時間までに寝る児童70%以上 ○朝食をとる児童90%以上 ○1日3回歯磨きをする児童80%以上	・9月と1月に「はなまるすこやかチェック」を実施し、1週間、就寝時刻、朝ごはん、歯みがき、ゲームの時間等について振り返らせる。 ・実施前に保健指導を行い、自分の生活を見直したうえで自分なりの目標を立てさせる。 ・便りで保護者に知らせ、協力をお願いする。						養護教諭・食育担当	
	○運動習慣の改善と体力づくり	○週に3日以上出て遊んだり、スポーツをしたりした児童が80%以上 ○外遊びのための具体的な方策を考えている児童が80%以上	・委員会が運動遊びの内容を決定し、イベントの運営・企画をする。 ・外遊びウィーク(12月)を設定し、外遊びを推奨する。 ・体力づくり強化月間(持久走・なわとび等)に取り組む。						体育主任・副主任	
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●年間を通しての時間外勤務時間平均が45時間以下100%	・教職員出退勤管理システムを積極的に活用し、月平均の自分の勤務状況を把握し、各自でタイムマネジメントしていく。 ・配布物・調査物等デジタル化したり、会議を精選しゴール(めあて・終了時刻)を明示したりして、業務削減を目指す。 ・毎週金曜日を定時退勤推進日とし、掲示板に掲げたり、個別に声掛けをしたりする。						管理職	
	○学校組織、教職員集団としての働きやすい雰囲気づくり	○一人で抱え込まず、気軽に情報交換や相談ができる職場だと思える職員80%以上	・情報を共有する場を設定する。(週に1回の連絡会) ・ストレスチェックを行い、各自の心の状態を把握する。 ・職員同士が気軽に話せる時間を設定する。(各学期に1回程度)						若手職員	

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目										主な担当者
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○特別支援教育の充実	○インクルーシブ教育の推進 ○ユニバーサルデザインの推進	○インクルーシブ教育について知っている職員が100% ○ユニバーサルデザインについて知り、学校共通の取り組みが行う職員が100%	・インクルーシブ教育についての研修を行う。 ・ユニバーサルデザインについて、研修を行い共通理解する場を設定する。							特別支援教育CO
○図書館教育	○読書活動の充実	○年間読書100冊に達した児童が90%以上	・多読賞や読書マスターの表彰、「100冊達成の掲示」を継続する。 ・図書館イベントの開催や公共図書館との連携、家読の推進、学校の読書活動のお知らせ、「100冊達成の掲示」に関する事項等を図書館便りで伝えることで、多くの本と出会う機会を作る。							図書館教育主任・副主任・司書補
○安全教育	○危機対応力の育成	○「学校は防災や不審者侵入などの対策ができています。」と答えた保護者が80%以上	・年3回の避難訓練を実施し、職員・児童の危機対応力を高める。 ・月1回の安全点検を確実に遂行する。							校内安全指導・防災指導担当

●・・・県共通 ○・・・学校独自 ◎・・・志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	
-----------------------	--